

# 大東文化歴史資料館だより

第21号 2016. 11. 30

## 大東アーカイブス第21回企画展・開館10周年特別企画

大東文化歴史資料館（大東アーカイブス）・大東文化大学 ビアトリクス・ポター™ 資料館  
開館10周年記念 共同開催

### －大東文化大学 ビアトリクス・ポター™ 資料館と 「ピーターラビット™」の世界－

展示期間：平成28年11月7日(月)～平成29年4月21日(金)

(開室時間 毎週月～金曜日 9:00～17:00)

展示場所：大東文化歴史資料館 展示室(板橋校舎2号館1階)

大東文化歴史資料館（大東アーカイブス）と「大東文化大学 ビアトリクス・ポター™ 資料館」は、2016（平成28）年に開館10周年を迎えました。さらに、2016年はビアトリクス・ポター™の生誕150周年でもあります。これを記念した共同企画として、特別企画展を共同開催することになりました。

本展では、「ピーターラビット™ と仲間たち」の世界をそのままに、人形作家R・ジョン・ライトのぬいぐるみや、貴重な絵本、挿絵、クリスタル、可愛らしいキャラクターたちのオーナメントを集め、紹介しています。

東松山のビアトリクス・ポター™ 資料館を抜け出して、板橋の大東アーカイブスへ、ピーターラ

ビット™ たちが初めて遊びにやって来ました！

#### ◆大東文化大学 ビアトリクス・ポター™ 資料館 について

2006（平成18）年4月、「大東文化大学 ビアトリクス・ポター™ 資料館」は、東松山校舎近くにある、埼玉県こども動物自然公園内に開設されました。

ビアトリクスが愛し、後半生を過ごしたイギリス湖水地方のヒルトップ農場を再現したものとなっています。家のサイズ、庭、玄関、正面の階段など、イギリスに現存するヒルトップ農場をできるだけ忠実に再現したこの資料館の景観は、多くの来館者の目を楽しませています。





小さな庭を抜け、館内のエントランスへ入ると、作者のビアトリクス・ポター™（1866～1943）がどのような人物であったのかが、わかりやすく解説されています。展示室は4つ。

1階には、イギリス本国で発行された絵本の初版本など貴重な書籍が多く並べられている第1展示室、ピーターラビット™の絵本の世界が広がるジオラマが置かれた第4展示室などがあります。キャラクターたちが現れてきそうな階段をのぼると、2階には、希少本や原画などを公開している第2展示室、可愛らしいグッズや映像が楽しめる第3展示室があり、一角には絵本を手にとることができる研修室もあります。

#### ◆大東文化大学 ビアトリクス・ポター™ 資料館 のこれまでの活動

大東文化大学 ビアトリクス・ポター™ 資料館では、開館からこれまでの10年間、毎年欠かさず記念企画やクリスマス特別展を開催しています。そこでは、『ピーターラビットのおはなし™』をはじめとしたポター作品の中に登場する、多くの魅力的なキャラクターたちを、様々な観点から紹



介してきました。これまでの企画展や講演、イベントに採用された多様なテーマは、作品やキャラクターだけでなく、最古の日本語訳が行われた『日本農業雑誌』の紹介や、作者の生い立ちや人物像に深く迫るなど、河野芳英教授（英文学科）らの研究・調査を軸に、その活動は学術的側面にまで及んでいます。

開館から1年目には記念講演やピーターラビット™との握手会を開催、記念グッズの抽選会やピーターラビット™との写真撮影会なども企画し、来館者を喜ばせました。以降も毎年4月には開館記念企画が催され、資料館が無料開放されるとともに、多様なテーマの記念講演が行われてきました。また、毎年11～12月には、クリスマス特別展やクリスマスコンサートも開催されます。クリスマス時期ならではの華やかで楽しいイベントとなっており、クリスマスの風景展、キノコ研究者としてのポター、マザーガースの世界からの影響などの多様なテーマで、特別な企画展示が開催されてきました。

本年11月22日～12月25日には、「刺繍で親しむピーターラビット™と仲間たち」～針と糸で描くビアトリクス・ポター™の世界～と題したクリスマス特別企画展が公開されます。また、恒例のクリスマスコンサートが12月17日（土）に、12月18日（日）には開館10周年記念講演が開催されます。

（歴史資料館運営委員・浅沼薫奈）

## \* 所蔵資料紹介 \*

## 『昭和六年七月 支那旅行案内』（大東文化学院）

『大東文化歴史資料館だより（大東アーカイブス・ニューズレター）』14号、15号では、吉田篤志氏（歴史資料館運営委員、中国学科准教授）より「大東文化学院時代の中国旅行記（一）」「同（二）」を寄稿いただき、『大東文化学院第老回支那旅行記』『燕呉遊蹤第二回支那旅行記』を紹介いたしました。この二つの『旅行記』は、1929（昭和4）年夏及び1930（昭和5）年夏に実施された「支那旅行」の記録をまとめ、1931（昭和6）年6月に刊行したものでした。この「支那旅行」は、当時として非常に画期的な試みであり、海外研修や卒業研修の意義を持っていました。

さて、今回、歴史資料館の所蔵資料として紹介するのは、『支那旅行案内』（以下、『旅行案内』）になります。奥付の発行日は1931（昭和6）年6月30日となっており、表紙には「昭和六年七月」の記載があります。前述の2冊と異なるのは、手書きである点と、旅行の記録を兼ねた感想集というよりも、「旅行案内」としての内容となっている点です。

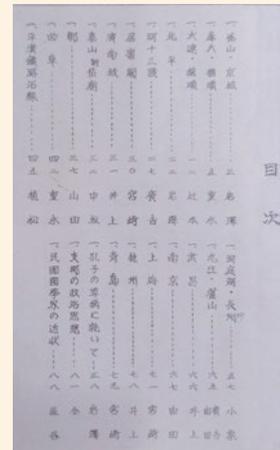
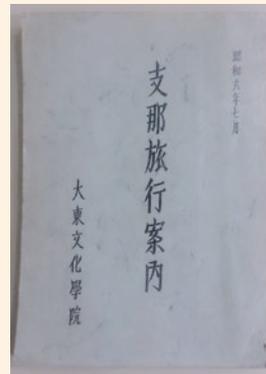
巻頭の「序」によれば、この『旅行案内』は3回目の「支那旅行」を記録したものであり、次のように記されています。

我が学院が支那旅行を実際に行はれてから本年度第三回になる。事實は三回目だ。併し気持では数十回、或は数百回行はれたも同然な気がする。一年に何十回となく、否毎日毎時、卒業の今迄日々精通して来たのは悉く皆旅行のプロセスであった。（中略）知らぬ火の夢を尋ねて作り上げた此の貧弱な予備調査、之を案内として同志は遙かに出発する。

旅行の興奮が冷めぬままといった様子で、上記のように記された序文の後の本文では、巡った18にわたる各地方の特性が紹介され、さらに孔子の尊称、支那の政治思想、民国国学会の近状といった論稿が付されています。

なお、参加者の「名簿」や旅の「日程」も冊子の中には挟まれていました。緻密な事前調査と実際の経験とをともに、現地の様子が詳細に綴られており、かなり学術的なガイドブックといった内容になっています。

（歴史資料館運営委員・浅沼薫奈）



## &lt;お詫びと訂正&gt;

前号（第20号）の「大東アーカイブスの動き」4行目、「本名山本」は「本名山内」の誤りでした。訂正してお詫びいたします。

## &lt;資料寄贈ご協力のお願い&gt;

大東アーカイブスは、本年2016（平成28）年、開設から10年を迎えました。これまで多くの大切な資料をご寄贈いただき、また貴重な情報をお寄せいただきました。みなさまからのご協力に衷心より感謝申し上げます。多くの資料を寄贈いただいたことで、これまでの企画展をはじめ様々な活動に活用させていただいてきました。百年史編纂が本格的にスタートしたこともあり、今後も本学関係資料を引き続き精力的に収集していく所存です。

同窓生の方々からのご協力はもちろんのこと、退職される教職員の皆さまからの寄贈にも大いに期待しております！

教科書・講義ノート、写真・映像、機関誌・新聞、在学中の刊行物、体育祭・学園祭のパンフレットや記録など、ご提供いただけるものや情報がありましたらご連絡いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 大東文化大学100年史編纂委員会からのお知らせ

百年史編纂委員会委員長 中村宗悦（現代経済学科教授）

平素は100年史編纂委員会の活動にご協力賜りまことにありがとうございます。「資料館だより」の紙幅をお借りして、皆様に作業の進捗状況などを適宜お知らせして参りますので、お目通しをいただき、お気づきの点や史資料の所蔵情報などを随時お寄せいただけますよう何とぞよろしくお願いいたします。

現在は、大学のウェブサイト上に大東文化大学100年の歩みが一目でわかるページを作成する準備に入っています。本学は創立からの100年の間、キャンパスの大きな移転や創設が数回ありました。地域社会との関わりもわかるような立体的な構成を考えております。現在のところ2017年の春に公開予定です。どうぞご期待ください。

また、大東文化大学100年史編纂委員会では大学各部署の過去の資料を蒐集、整理に取りかかっています。現在、総務課や学務課などが保存している過去の会議資料などを整理しているところですが、各部署におかれましては過去の資料の所在などをご確認ください。こちらから資料の所在状況確認などに伺わせていただきますので、その際にご協力方よろしくをお願いいたします。

最後に、もう1つ。すでに大学ウェブサイトや「資料館だより」、「大東新聞」でもお知らせしてありますように、大東文化大学百年史編纂委員会では、大学史のみならず広く日本の近代史に関する研究を目的とした紀要を刊行する予定となっております。創刊号の投稿締切は、2016年12月20日です。投稿のご予定がある方はどうぞ締切までに原稿をお寄せ下さいませよう、こちらもよろしくをお願いいたします。なお投稿規程は、「資料館だより」第20号 ([http://www.daito.ac.jp/file/block\\_100457\\_01.pdf](http://www.daito.ac.jp/file/block_100457_01.pdf)) をご参照くだされば幸いです。

研究紀要・百年史編纂に関するお問い合わせ：  
archives@ic.daito.ac.jp

### 【大東アーカイブス活動記録】（2016年4月～2016年9月）

- |  |   |
|--|---|
| 4.4 田中重太郎氏（同窓生）より資料受贈                              | 6.3 吉田篤志氏（中国学科教員）より資料受贈                           |
| 4.18~19 企画展入れ替え作業                                  | 6.6 加藤常賢に関する問い合わせ、対応<br>収蔵資料・保管庫整理                |
| 4.20 第20回企画展「大東スポーツの源流 体育部・体育連合会の創設と活躍」公開          | 6.7 田尻洋介氏（同窓生）より資料受贈                              |
| 4.21 大学史資料協議会幹事会（於：明治大学）                           | 6.8 本学関係所蔵資料について問い合わせ、対応                          |
| 4.25 谷本宗生氏（歴史資料館教員）より資料受贈                          | 6.9 中林史郎氏（中国学科教員）より資料受贈                           |
| 4.28 第4回百年史編纂委員会会議                                 | 6.9 運営委員会会議                                       |
| 5.10 林正統氏（元事務局長）より資料受贈                             | 6.30 木島里八氏（同窓生）より資料受贈                             |
| 5.12 大学同窓生より資料寄贈希望受付                               | 7.4 第5回百年史編纂委員会会議<br>「卒業アルバム」（昭和16年第一部修身漢文科一期生）入手 |
| 5.13 学院同窓生より資料寄贈希望受付                               | 7.14 全国大学史資料協議会東日本部会幹事会、研究会参加<br>（於：帝京大学）         |
| 5.18 学内所蔵事務文書調査のため資料借用運搬（総務課所蔵資料）                  | 7.20 安井広子氏より資料受贈                                  |
| 5.20 国際交流センターへ企画展借用資料返却<br>百年史WG会議                 | 8.3 入試広報課所蔵資料の確認                                  |
| 5.24 放送局より大東文化学院期（教員関連）について問い合わせ、対応                | 9.2 河野芳英氏（英文学科教員）より資料受贈                           |
| 5.26 全国大学史資料協議会東日本部会総会参加（於：東京農業大学）                 | 9.29 全国大学史資料協議会東日本部会幹事会参加（於：明治大学）                 |
| 5.31 ニュースレター「大東文化歴史資料館だより」vol.20発行                 |   |
| 6.1 ニュースレター発送・配布<br>学務課所蔵資料の確認<br>野口佳恵氏（同窓生）より資料受贈 |   |

大東文化歴史資料館だより

第21号

DAITO ARCHIVES NEWSLETTER Vol.21

発行：2016年11月30日

編集発行：大東文化歴史資料館

〒175-0083 東京都板橋区徳丸 2-19-10

大東文化大学徳丸研究棟

TEL 03 (5399) 7646 / FAX 03 (5399) 7647

URL : <http://www.daito.ac.jp/information/about/archives/index.html>